



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる水の量を増やします

地元の声

- ・川の流れがところどころで直角に曲がっていてそこで水が流れにくくなり溢れている。(地元区長)
- ・川から溢れた水が住宅のそばまでみるみる迫って来て、庭先や道路が川ようになります。(地元住民)
- ・早く浸水が起こらないようにしてほしい。(地元住民)

事業前

- ◆大雨の時、水が一度に小さい河道に流れ込むため、水害リスクが高い状況です。



浸水状況 (H20.7)

せまい河道

事業前の状況

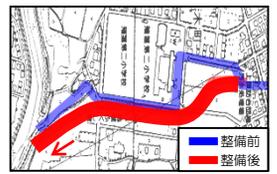
事業後

- ◆大雨の時、調節池に水を貯めることで下流へ流れ込む水の量を減らします。
- ◆川幅等を拡げることで、大雨の時に川に流せる水の量を増やし、水害リスクを軽減します。

調節池整備



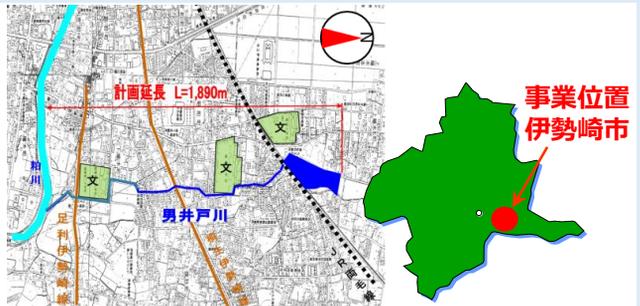
河道の拡幅



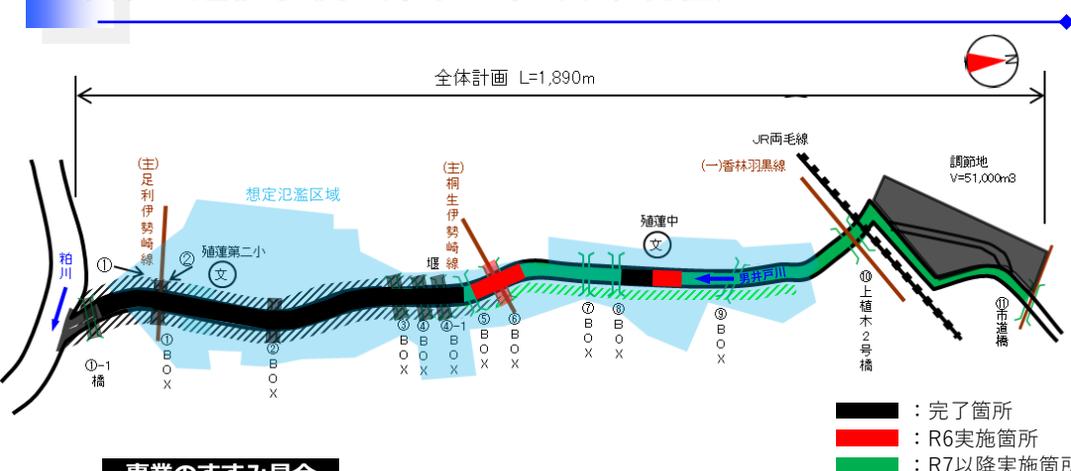
事業後のイメージ

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市日乃出町～豊城町
- 事業内容：河道改修 延長 1,890m
調節池 容量 51,000m³
- 事業期間：平成12年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、引き続き河道工事を実施します。



道路の下(地中)に、新しい河道を設置します

事業のすすみ具合

